

活動報告書

自民党 衆議院議員
外務大臣政務官

木原誠二

せいじ便り 67号

一歩一歩ともに



上海フォーラムに参加



去る5月24日(土)、25日(日)、中国では北京大学と並ぶ名門である復旦大学主催の「上海フォーラム」にパネリストとして招待され、参加してきました。出席者は、中国、韓国、ASEAN、ロシア、インドなどから政治家、学者、官僚、ジャーナリストなど300人程度。日中関係が悪化している中のため、外務大臣政務官という公式な立場ではなく、完全な私的立場での出席でした。

私に与えられたテーマは「アジア太平洋地域の将来と日本の方向性」、15分スピーチさせていただきました。スピーチのポイントは以下のとおりです。

- 21世紀はアジア大洋州の時代。
- そのアジア大洋州の時代が「共存と繁栄」のものとなるか、「奪い合いと衝突」の時代になるかは、我々にかかっている。
- 「共存と繁栄」には三つのことが大切。(イ) 平和、(ロ)物と人の自由な往来、(ハ)協力。
- 平和については、(イ)軍事力増強について透明性をもつべき、(ロ)既存の秩序を一方的に力で変更しようとする動きは厳に慎むべき、(ハ)法の支配を貫徹すべき、(ニ)アジアに対する米国の関与を積極的に歓迎すべき。
- 人と物の自由な往来については、日本としてTPPに取り組むこと、海洋安全に万全を尽くすこと。

● 協力については、特に、日中韓の間において、環境問題(PM2.5など)、エネルギー問題(LNG共同購入やパイプライン網整備など)、そして人的交流の促進(とりわけ若手)が大切である。

私が参加したセッションは2時間にわたり、私以外に4人の方がそれぞれ15分ずつスピーチしましたが、その後の約50分の質疑応答の9割は、私に集中。靖国問題、集団的自衛権、日中関係、北朝鮮、TPP、はたまたアベノミクスにいたるまで…、全て英語のやりとりで緊張しましたが…。その中で、感じたことを裏面で3点、紹介します。



一番怖いのは欠席裁判

痛感したことは、日本に対する論調は決して穏やかなものではなく、誤解や不勉強からくるものが多数あるということだ。ところが、それに反論する、あるいは正確に日本の立場や考えを伝える人間が殆ど出席していない。今回の上海フォーラムも、複数の日本の大学や研究所が協力機関となっているにもかかわらず、日本の参加者は300名中の数名。日本不在のまま国際的論調が形成されていくことは絶対避けねばなりません。国内でいくら正論をぶつても、それが海外に届かなければ意味がありません。残念ながら、日本にはBBCやCNNのような国際的メディア

中小企業の活性化

現在、やや踊場にある株式市場や消費税増税後の経済動向を見るにつけ、2009年〜2012年の落選・浪人時代に、中小企業でサラリーマンとして働きながら考えていたことを思い出します。「日本経済の復活は中小企業・小規模事業者にあり!!」

上場企業は、史上最高レベルの利益を上げています、とりわけ、大手製造業の復活には力強いものがあり、そのお蔭で賃金上昇にも勢いがあり、失業率や有効求人倍率などの労働指標も高止まりしています。

がないのですから、自ら外に出て発信する以外にありません。それも、日本に対する見方が厳しい場面・場所にこそ、袋叩きになる覚悟で出かけて、日本の立場を堂々と主張することです。

一方的発信ではなく議論が大切

その際、一方通行のスピーチだけでは足りないことも痛感。相手の本音は、議論あるいは質疑応答で初めて出てくるのであって、それに対して説明、反論することで初めて日本の立場が伝わります。「いいスピーチ・演説だった」では、国際社会では足りない。むしろ、スピーチだけして質疑応答や議論に参加しなければ、「言いたいことだけ言っただけ」というマイナス評価にもなりかねません。

でも、最後の押し勢いが弱い。何故か。やはり、中小・小規模事業者、地域経済に元気がないからです。

だからこそ、中小・小規模事業者の元気を取り戻すためのもう一段の施策が必要であり、私も、6月の安倍政権・成長戦略第二弾に少しでも反映させるべく、取り組んでいるところです。具体的には、

- 仕事の地産地消・地域の公共事業、公共調達は地域の中小・小規模事業者零細企業にできる限り優先的に開放するための、会計関係法令の見直し。
- 中小・小規模事業者による「既存事業を

やはり英語

そして、やはり英語。かつては、日本だけでなく総じてアジアの人々は英語が苦手でした。しかし、今や、中国も韓国ももちろんASEANの人々も素晴らしい英語を話します。日本人のためだけに通訳がつく時代は終わっています。しかも、通訳が入った瞬間、本音が伝わらないのも現実。あらためて、下手でも英語でやり取りすることの重要性を痛感。ちなみに、私も帰国子女ではなく英語にはいつも苦労しますが、それでも、会議の数週間前から猛烈に準備して、何とかしのいでいます。こうしたことを念頭に置きながら、日本外交の対外発信力強化に全力を挙げたいと思います。

継続しながらの第二創業」を後押しするための、税制、法制度の整備。

- 中小・小規模事業者を育てる観点での地域金融の強化。
- 国際競争力ある中小企業の海外展開をODAや公的金融を通じて支援。
- 国、都、市区町村でバラバラの中小零細企業施策のネットワーク化。
- 中小零細企業の認定支援機関の能力向上と評価・格付け。



PROFILE

年金・医療・介護、障害者福祉、行財財政改革、公務員制度改革、都市農業など幅広く活動を展開。1970年6月東京生まれ。私立武蔵高校、東京大学法学部、ロンドン大学LSE修士卒業。平成5年大蔵省入省。平成17年9月衆議院初当選。著書に「英国大蔵省から見た日本」(文春新書)



Facebook <https://www.facebook.com/seiji.kihara>

twitter ID http://twitter.com/kihara_seiji

地元事務所

〒189-0013 東村山市栄町2-22-13 松岡ビル2F
TEL 042-392-4105 FAX 042-392-4106

国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館915号室
TEL 03-3508-7169 FAX 03-3508-3719

<http://www.kiharaseiji.com>

発行：木原誠二後援会 東京都東村山市栄町2-22-13 松岡ビル2階